

2017  
8  
月号

## あさお市民活動レポート

平成29年度麻生区地域課題対応事業  
「あさお市民活動レポート」第2巻 第18号  
発行日：平成29年8月1日



発行元：認定NPO法人あさお市民活動サポートセンター

# 多くの会が生まれ、また無くなっています！

## 市民活動の盛んな麻生区

3月からはじまった区民講師公開講座も6月に終了し、今年も18名の講師がデビューした。

「皆さん、なにか区民のかたに披露したいこと、伝えたいことがあるはず、準備はしますので手を挙げてください」とやまゆりで呼びかけたこの講座も、8年目を迎えた。すでに100名以上の講師がデビューしている。

この講座の、もう一つの目的は、受講生にさらに内容を深めてもらえるようなサークルを有志で作ってもらうこと。今年も「心身調整ヨガ」「やまゆり遊印の会」が生まれた。

また同じように「目指せ！アクティビティシニア達のセミナー」も、毎年、実施され、セミナーが終わつてから多くの仲間が地域デビューを果たしている。

いずれも、来年度の募集は秋にははじまる予定なので、関心のあるかたはチラシなどを参照されたい。

このように、新しい会が生まれる反面、高齢化から歴史の幕を閉じる会も多くなっている。仲間でつくる会では、長く続けることは本意ではないかもしれないが、施設を管理する団体、とくに多くの公園を区民の協議会に管理を委託している

道路公園管理センターでは、高齢化による扱い手不足が問題になってきている



成24年度には国土交通大臣表彰を受賞し、引き続き「日本一の芝生公園にしたい」を目標に頑張っています。しかしながら、ボランティア会員の高齢化などにより、現環境を維持していくのが困難な状況になつてきました。

子どもたちが裸足でかけまわれる「芝生公園」が「雑草公園」になつてしまつて寂しいかぎりです。ついては、ボランティア説明会を実施します。

少しでも地域のために関心のある多くの方の参加を期待いたします。

### ●ボランティア説明会

8月10日（木）10時～  
麻生市民交流館やまゆり

## ◆トピックス◆ 麻生区の誇りを 守りませんか！

新  
ゆり

アートパー

クスを保全

する管理運

営

協議会は

活

動を開始

し10年目を

迎えます。平成24年度には国土交通大臣表彰を受賞し、引き続き「日本一の芝生公園にしたい」を目標に頑張っています。しかしながら、ボランティア会員の高齢化などにより、現環境を維持していくのが困難な状況になつてきました。



# 思い出もよみがえらせる

## 柿生おもちゃ病院

土曜日の午後。柿生地区会館におもちゃを抱えた人たちがやつて来る。心配そうな表情。だが「大丈夫、直りますよ」の言葉に顔がほころぶ。ボランティアで壊れたおもちゃを修理する「柿生おもちゃ病院」の診療風景だ。

「何か社会に貢献できることを」と考えていた院長（代表）の堀忠男さんが「日本おもちゃ病院協会」（本部・東京）を知ったのがはじまり。协会の講習を受け、実地訓練も積んだのち、おもちゃドクターとして、友人の上条正雄さんと今年1月から月1回活動をはじめた。以来、7カ月で手がけた修理は60件



▲診療に忙しいスタッフ。左から堀さん、清水文雄さん、山本文人さん、上条さん

まれたものはすべて直してきた。「お子さんやお母さんに喜んで帰っていただくのが何ともいえませんね」とやりがいを語る堀さん。上条さんは「達成感がすごくあります」。子どもだけでなく、年配の人もやつて来る。「思い出の品なので、と。『あきらめいたのに、直してくれてありがとう』と言われるのは本当に嬉しいです」（堀さん）。おもちゃの動きだけでなく、大事な思い出もよみがえらせてくれる活動だ。

「どんな状態でも、できる限り直す」のが信条。時間がかかる場合は預かり、分解して調べる。壊れた部品の手づくりも。たとえば動くぬいぐるみなら、糸をすべてほどいて内部の故障を修理し、また丁寧に縫い直す。修理は無料で、特別な部品が必要な場合のみ、実費を受け取るだけ。信条通り、これまで持ち込

まされたものはすべて直して

いる。熟年世代のスタッフも5人に増えた。

「主の井上さん。ぜひ親子で参加し、地元野菜の良さを再発見し、新百合ヶ丘の街の豊かさに気づく機会にしてほしい。講師は古沢にある農園の井上さん。ぜひ親子で参

## 農育で街の魅力を再発見

### ふらっと新百合ヶ丘

取材・文 区民記者 佐藤次郎

今年度、「麻生区地域コミュニティ活動支援事業」

に選ばれた「ふらっと新百合ヶ丘」は子育て真最中のお母さん達5人で、発足した会だ。地元の農家の人と連携し、農育を通して地域に根づいた子育てをしたいという思いが原動力となつてできた会である。

代表の中村ふみよさんは川崎市を中心に活動するVege & Art Fesのメンバー

として地産地消を応援しながら、農業体験を楽しんできた。土に触れ、太陽をいっぱいにあびて成長する野菜を見守るのは子育てと重なる

という。はじめて見る青いトマトを口にしたときは顔をしかめ、真っ赤なトマトの収穫では目を輝かせる子どもたち。新百合ヶ丘にある農園でもできないだろうか。それが活動の目標となつた。

### DATA

#### ふらっと新百合ヶ丘

代表：中村ふみよ

連絡先：Tel. 044-281-6517

[http://www.jp-spiritual.com/kuromyo\\_jinjya1.htm](http://www.jp-spiritual.com/kuromyo_jinjya1.htm)

#### 今後の予定

8月27日(日) 野菜の布染め&収穫体験  
井上農園で9時30分～11時30分

9月24日(日) 農園でワークショップ&野菜の収穫体験  
井上農園で9時30分～11時30分

10月9日(月・祝) えだぐり祭(農と地域をつなぐお祭り)  
場所・麻生市民交流館やまゆり

12月3日(日) 木の実拾いでワークショップ&野菜の収穫体験  
井上農園で9時30分～11時30分

詳しい内容のチラシ希望の方は下記へ  
麻生図書館、子ども文化センターなど

### DATA

#### 柿生おもちゃ病院

代表：堀 忠男

連絡先：Tel. 080-5535-0835 (堀) Tel. 090-8046-6018 (上条)

設立：2016年12月

会員数：5名

活動日：毎月第2土曜日（祝日の場合は翌日の日曜日）

13時～16時

場所：柿生地区会館（麻生区役所柿生分庁舎2階）



▲7月9日の第1回ワークショップ。野菜で作ったハンコに子どもたちも大喜び

取り入れるなかで人の輪も絆も広がっていく。「ふらっと新百合ヶ丘」はそんな街を目指している。

# 被爆体験を語り継ぎ平和な未来を

## 平和を願う会

千円（大学生以下無料）。参加をお勧めしたい。

8月6日(の)ピカドン。あ

なた達二人をひざにのせ茫

然とわが家が焼けるのを見

ていた。その時、見たものを

私は一生忘れる事は出来な

い。広島湾に向かう一本道を

黙々と続く人の列。この世の

ものとは思われなかつた。生

き地獄そのもの…。

願わくば日本のこの平和

がいつまでも続きますよう

にと、今ひたすらに世相を察

じています。戦争は絶対にし

てはいけません。これが私の

全身全靈の叫びです。（注）

「平和を願う会」は、麻生区民特に小・中・高校生に、平和の尊さと戦争や被爆の恐ろしさ、核兵器の非人道性の実態を伝え、彼らが戦争や核兵器のない平和な世界の実現を目指す若者に育つてくれるよう活動する会である。被爆体験の承継と平和の希求という森政忠雄さんの講演に感銘を受けた岩田さん、中田さん、そして女性達によって発足した。

成澤さんは、障がいなども個性ととらえ、差別や偏見のない世の中になつてくれたらという理念を抱く。また、心が育まれた塾

彼女はこの理念を子どもたちに伝えたいと、1年前に市民劇「大切な星を心にひとつ」を書いた。職業体験ではじめて障がい児と接した中学生のときに教わった塾の先生に障がいがあつたため、小さい頃に分け隔てのない心が育まれた。

## 人々が苦楽を共にできる世の中に！ 「心に星を」市民プロジェクト



▲家族の絆を伝える重要な場面を繰り返し練習

●市民劇  
**「大切な星を心にひとつ」**  
日 時：10月21日（土）  
午前 10時開場、  
10時30分開演  
午後 13時30分開場、  
14時開演  
場 所：新百合21ホール  
料 金：大人900円  
子ども（中学生まで）無料



▲練習前のくつろいだひととき

**DATA**  
こころ ほし しみん  
**「心に星を」市民プロジェクト**  
代 表：矢澤 耕一・副代表：成澤 布美子  
連絡先：Tel. 044-954-4363（成澤）  
設 立：2016年1月  
メンバ：14名（内男性5名）30～70歳代  
活動日：月1回（適時）  
場 所：麻生市民交流館やまゆり



▲プロジェクトのイメージキャラクター

●「心に星を」市民プロジェクト祭り  
～優しさの種をまこう～  
日 時：8月20日（日）10～17時  
場 所：麻生市民交流館やまゆり  
内 容：【1階】午前・映画上映「銀河の雫」  
午後・人形劇、合唱、腹話術、手品、漫才、  
フラ、対談（柿の実学園長小島澄人氏と成澤布美子さん）【2階】ワークショップ（布人形づくり、桧箸づくり、おもちゃづくり）  
【やまゆり玄関前】ソーラークッカ一体験  
料 金：大人500円 子ども（中学生まで）200円  
出入り自由、1日フリーパス

成澤さんは、今後も演劇の力を借りて優しさの種をまき、ともに支え合う地域づくりを目指してゆく。

近々団体が主催するイベントが開かれる。この機会に親子ででかけてみよう。また賛同できる方は入会を。

## 心と心が響きあうハーモニーを奏でる

ヒューマンハーモニー・オーケストラ

2017年7月2日(日)に

麻生市民館大ホールで開催さ

れたヒューマンハーモニー・

オーケストラの第二回定期演

奏会は、開演前から長蛇の列。

親子連れでも楽しめるように、

場内には至るところに花や風

船が飾られ、ロビーにはぬいぐ

るみが置かれ、塗り絵コーナー

もあって、大人や子ども達で会

場は熱気に包まれていた。オーケ

ストラを作り

たいと思われた

西平のりこ先

生は、音楽教育

に熱心な金沢

在住の鈴木敬

先生にこの思

いを話したところ、意気投合。

翌月には人と人がお互いに分

かり合ってはじめて本当の

ハーモニーが奏でられる、とい

う意味を込めて「ヒューマン

ハーモニー・オーケストラ」と

ネーミングされた。人と人が分

かり合ってお互いに心を動か

されるには、人に感謝する心と

支え合う心が一番大事である

ことを基本に、4つの力をオーケ

ストラの活動理念とするこ

とにした。それは、(一)感じ

る力(二)想う力(三)分かり

合える力(四)表現する力だ。

それから数ヶ月後には、気持ち

を同じくしてくれる人が集



▲来場者が心から楽しみ、感動する演奏ができるように、熱のこもった練習が続く



総監督  
西平のりこさん



2013年

秋、何の制約も

ない自由な雰

囲気のオーケ

ストラを作り

たいと思われた

西平のりこ先

生は、音楽教育

に熱心な金沢

在住の鈴木敬

先生にこの思

いを話したところ、意気投合。

翌月には人と人がお互いに分

かり合ってはじめて本当の

ハーモニーが奏でられる、とい

う意味を込めて「ヒューマン

ハーモニー・オーケストラ」と

ネーミングされた。人と人が分

かり合ってお互いに心を動か

されるには、人に感謝する心と

支え合う心が一番大事である

ことを基本に、4つの力をオーケ

ストラの活動理念とするこ

とにした。それは、(一)感じ

る力(二)想う力(三)分かり

合える力(四)表現する力だ。

それから数ヶ月後には、気持ち

を同じくしてくれる人が集

まるで、まず4人からスタート

した。その後も、既存のオーケ

ストラにない常識に囚われな

い自由な雰囲気に共感して  
続々と団員が集まり、翌年の  
2015年8月には第一回定  
期演奏会を麻生市民館大ホー  
ルで開くことができた。

聴きに来る人達も幼児連れ  
だろうが何ら制限はないこと  
もあって、第一回から今年の第  
三回まで毎回満席となつてい  
る。

者まで47名。技量も初心者か  
らベテランまでさまざままで、入  
団するのに何のカベもない。

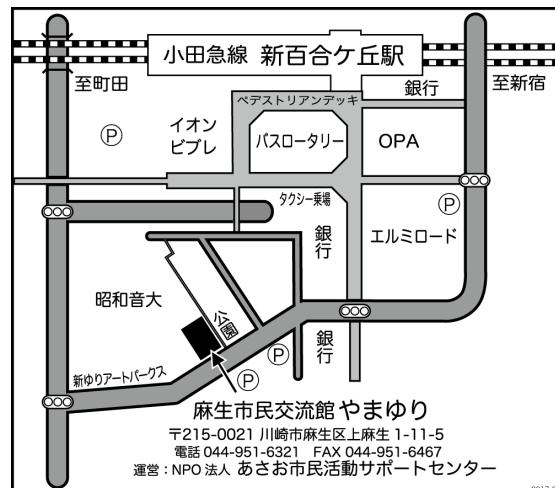
定期演奏会に向けて、約一  
年前から練習を行つていて、誰  
でも自由に見学できる。

定期演奏会に向け、約一  
年前から練習を行つていて、誰  
でも自由に見学できる。

## あさお区民記者クラブ

「区民による 区民のための情報発信」を目的に活動。  
過去の記事や取材後記はホームページをご覧ください。

<http://www.asao-ku.net>



## 取材申込み受け付けます！

「活動を紹介して欲しい」「イベントを取材して  
そんな声に区民記者が応えます。  
お申込み内容を編集会議で検討したうえ  
改めてご連絡させていただきます。

### ●応募条件

麻生区を拠点に活動している。または、麻生区在住・  
在学・在勤者が活動に参加している。

### ●申し込み方法

- ① 団体名 ② 代表者名 ③ 連絡先(電話・FAX・メール)
- ④ 活動内容(イベントの場合は開催日時・料金・内容)を、「あさお区民記者」宛てにFAXまたはメールでご連絡ください。

FAX.044-951-6467

Mail [info@asao-ku.net](mailto:info@asao-ku.net)

※但し、選挙、政党・政治団体など政治活動に関わるもの、宗教団体による布教推進を目的とするもの、プライバシーの侵害や業務妨害のおそれのあるもの、差別を助長するものは掲載できません。